

# 座光寺トリビア Vol.2

県道 229 長野  
**座光寺**  
県道 251 長野  
**県道物語**

麻績の里 座光寺便  
2020.12 No.35  
ZAKOJIBIN

リニア中央新幹線、座光寺スマートICなど、昨今は交通に関する話題の多い座光寺地区です。そこで今回は、座光寺を起点・終点とする2つの道(県道251号・県道229号)を取り上げます。リニア、スマートインターに比べれば地味な感がありますが、歴史はこちらが先輩格。未来の交通を考える糧にもなるでしょう。2つの県道物語、お楽しみください。



## 丸形ポストは今も現役

JR元善光寺駅前に、今では見ることが非常に少なくなった丸形の郵便ポストがあります。

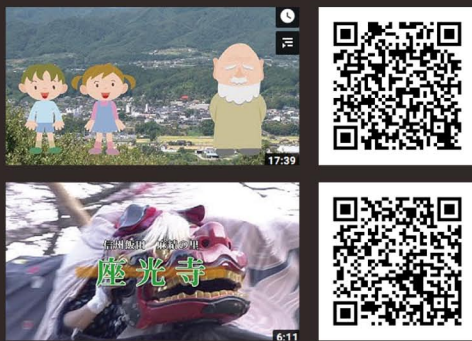
赤い丸形ポストは明治34年(1901)に東京日本橋に試験的に設置され、明治41年以降全国に普及していきました。今では当たり前の赤い色は、誰にもそれとわかるように、また円柱の形状は、通行の邪魔にならないよう角をなくしたものです。



戦中は鋳物だったため供出の憂き目に遭いますが、戦後の昭和24年から再び設置されます。現在残る丸形ポストの大半は戦後のものだそうです。この丸形ポストも1970年以降は角形に代わっていきました。

一説に南信州にはこの現役丸形ポストが19基あるとか(平成29年5月時点)。中でも元善光寺駅前のポストは昭和24年製で、現役ポストとしては最も古いものと考えられます。

座光寺地域自治会では今年、座光寺を紹介する動画を作成し、YouTubeで視聴できるようにしました。「麻績の里座光寺」「座光翁と麻績っ子の座光寺めぐり」で検索すればご覧いただけます。



このQRコードを読み取ると、YouTube動画が再生されます。↑

座光寺のある南信州地域は日本のほぼ中央に位置し、東西軸と南北軸が交わる交通の十字路にあたります。ここに三遠南信自動車道・中央道と、リニア中央新幹線という21世紀の東西・南北交通軸が整備されます。新たな広域交通時代がやってきたとき、この地がこれまで培ってきた歴史遺産や文化ストックはどのような価値・可能性をもつのでしょうか。地域はいま、過去何度かあった大きな時代の転換期にいます。



起点の旧153号交点

県道  
**229**  
長野

## 長野県道229号市場桜町線

いちばなさくらまち

認定年月日:昭和34年8月1日  
 起点:飯田市座光寺  
 (旧153号交点)  
 終点:飯田市桜町  
 (飯島飯田線交点)  
 延長:4,019.6m

元善光寺参道口の三叉路を起点に、飯田市桜町までの間が長野県道229号市場桜町線です。延長は約4キロと短いものの、開通年は昭和34年で、当時は飯田市座光寺、下伊那郡上郷村、飯田市桜町の2市村を結ぶ道路でした。

この道は交通量が多いのが特徴。またリニアの計画ルートがこの道と交差するため、道路周辺は大きく姿を変えたと考えられます。



終点の飯島飯田線交点

多くの車両が行き交う高松通り



起点の飯田市上村上町、国道256号交点

県道  
**251**  
長野

認定年月日:昭和57年7月16日  
 起点:飯田市上村  
 (国道256号交点)  
 終点:飯田市座光寺  
 (JR飯田線 元善光寺駅)  
 延長:29,904.2m  
 (現供用区間)

標高1195mの地点にある赤石トンネル

### ◆赤石林道の開通

県道上飯田線の一部は旧赤石林道(※)です。かつて飯田と遠山谷(現飯田市上村・南信濃)を最短で結ぶ道は、伊那山地の小川路峠越しにありませんでした。しかし飯田線の開通や自動車交通の時代になると、この道はやがて廃れてしまいました。

昭和15年、赤石林道期成同盟会が結成され、同31年には林道赤石線開発促進委員会ができて、機運が盛り上がりします。当時、豊富な森林資源を有する遠山谷は国有林事業が盛んでした。農林省はこのとき、林道開設に当たっては地域での利用も考慮した路線計画を立てており、飯田営林署管内では遠山谷と喬木村を結ぶ赤石林道がこれに該当しました。

昭和36年5月、森林開発公社により喬木村矢管と上村上町の両側から着工した林道は、42年7月に赤石トンネルが貫通し、43年(1968)3月に開通となりました。

「陸の孤島」といわれた遠山郷は、この赤石林道の開通により飯田と上町間が1時間20分ほどで結ばれるようになりました。自動車による交通運輸が増大し「遠山谷の夜明け」とまでいわれました。

かみいいた

## 長野県道251号上飯田線

上飯田線の「上」は上村で、「上飯田」ではありません



喬木村氏乗の三遠南信自動車道矢管トンネル出口上

### ◆県道上飯田線へ

昭和50年代には上南信濃両村の手でガードレール設置などの整備が進みました。そして57年3月、林野庁との協議で村道に認定され同年7月に県道に認定されました。



終点のJR飯田線元善光寺駅前

#### MEMO

- 赤石トンネルは県道251号の最高地点。標高1195m、長さ1070m。
- 飯田市上村清水～喬木村氏乗(矢管トンネル出口上)の9.7kmの区間は、12月初旬から4月中旬まで冬季閉鎖区間。
- 喬木村氏乗の三叉路から小川川に沿った区間は道が狭く見通しが悪いので注意を。
- 阿島橋は昭和49年3月まで通行料金が必要な「有料橋」でした。通行料は自転車10円、普通車100円、歩行者は無料。

### 竜東索道終着所

竜東索道は、喬木村小川渡と上村程野間16キロメートルを結んでいた、生活物資輸送のロープウェイです。輸送手段がなくなった時代、遠山谷の豊富な森林資源を運び出し、また山深い集落に生活物資を届ける役割を担いました。大正8年に計画され、同12年に竣工しています。

その後、伊那電気鉄道の敷設延長に伴い、昭和4年に喬木村から座光寺高岡まで延長されました。しかし営業した期間はわずか、昭和12年に廃線となりました。座光寺村史には「小川渡から白山(しらやま)付近を通り、現在の高岡消防団詰所辺りに終点があった」とあります。

高岡の森と国道の「座光寺高岡」信号を結ぶ道の、桃畑の脇に

コンクリートの塊が見えます。ロープを固定する頑強な土台でしょうか、土に埋もれて全容はわかりませんが、これが竜東索道・高岡終着所の名残です。



※赤石林道は上村～喬木村氏乗間の14.3kmです。